



登録を記念して発売した古川祭のラベルが付いた日本酒＝飛騨市古川町で

## 日本酒ラベルでもアピール 古川・渡辺酒造店

渡辺酒造店（飛騨市古川町）は、古川祭が無形文化遺産に登録されたのを記念し、祭を描いた2種類のラベルを付けた日本酒を発売した。売り上げの3%を古川祭保存会に寄付する。

「小町桜 古川祭」は起し太鼓の勇壮なイラスト。版画家として2人目の日展特選になった高山市の故・守洞春もりどうしゅんさんの作。「にごり酒

古川祭」は金沢市の女性イラストレーター・ほんだじよりさんが、福祿寿のからくりを擁する青龍台をかわいらしい筆致で描いた。

渡辺久憲社長(48)は「国内外の販路を生かし、古川祭を多くの人に知ってもらいたい」と話す。

「小町桜」は720ミリ入りで761円、「にごり酒」は720ミリ入りで1296円。